

GOOD LIVING HEADLINE

ビジネス
ユーザーの皆様へ

5
2021

商品のトレンドや新しい制度などお役に立つ情報を、日頃お引き立ていただいているビジネスユーザーの皆様へ発信します。

まだまだ
増やせる!?

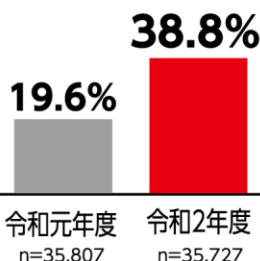
建設業界のテレワーク

この1年で一気に普及したテレワーク。一方で建設業界のテレワーク導入率は未だ低いと言われています。今回は建設関連企業で実際に取り入れられているテレワーク業務をご紹介します。様々なメリットがあるテレワーク導入を改めて考えてみませんか？

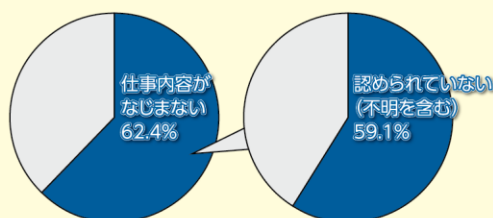
Data

実施を阻む理由の第1位は「仕事がテレワークになじまない」

テレワーク制度等の導入割合



テレワークを実施していない理由



令和2年度のテレワークの導入割合は、前年比およそ2倍に増加しています。テレワークを実施していない雇用型就業者にその理由を聞くと、最も多かった回答が「仕事内容がテレワークになじまない」62.4% というもの。テレワークになじまない仕事内容は「直接対面が必要」31.6% 「現場作業が必要」23.4% などとなっています。

出典:国土交通省「令和2年度テレワーク人口実態調査」



Case

建設業でも様々な業務にテレワークが取り入れられています。

新規顧客とオンライン商談

見込客や新規顧客との商談にもオンラインを採用している企業が増えています。導入の方法は自社ホームページでオンライン商談の内容を紹介する、専用フォームを設けることなど。Web会議ツールはZoomやSkypeなどいくつかの選択肢を用意するとよいでしょう。当日は資料を画面共有しながら商談を行い、終了後には提案資料をメールで送付し、質問に回答するなど継続してフォローしましょう。



FAXでのやり取りをクラウドに移行

受発注に関する書類や図面など、これまでFAXで行っていたやり取りをインターネット・FAXやクラウドの活用により切り替えることで、事業所へ出社する必要がなくなり、ペーパーレス化も実現できます。クラウド上で図面や現場写真などを共有できるため、スムーズな工事情報の把握が可能に。伝達ミスが削減でき、施工管理の効率も上がります。



リモートPCで事務作業

インターネットを通じてオフィスにあるPCを操作するリモートアクセスツールなら、テレワーク時に自宅から社内のPCを操作するだけでなく、建設現場や出張先、移動中の車内など様々な状況での利用が可能です。画面を転送するだけの仕組みで、社外の端末にデータが残ることもないため、セキュリティ面からも導入しやすいツールといえるでしょう。



請求書の電子化

請求書の電子化には、紙の文書をPDFやスキャンングによって電子化する電子化文書と、ソフトウェアを用いて電子データとして作成する電子文書の2種類があります。いずれも印刷・封入などの作業がなくなる、保管に場所を取らないなどのメリットがあります。日本でも電子文書の仕様統一の検討が進んでおり、電子文書が義務化されていく可能性もあります。



裏面に続きます▶

建設関連企業におけるテレワーク導入のメリットとは？

コストカット

出社や移動にかかる交通費、事業所の家賃や水道光熱費などの削減によるコストカットが可能となります。

業務の効率化

通勤や移動が減ることで集中力を高められる他、IT化による業務の手間のカットで、業務効率の向上が図れます。

優秀な人材確保

働きやすい環境が整うことで、建設業に不足している若年層や女性などの人材確保が期待できます。

企業にとってもメリットの多いテレワーク導入を今一度、検討してはいかがでしょうか。



おうちでショールームアドバイザーへ水まわり相談！

ハウステックの

オンライン接客サービス

子育てや介護で忙しくても、新型コロナが心配でも、オンラインなら気軽に相談できます！お施主様と一緒にハウステックのオンライン接客サービスをご利用ください。



工務店様



お施主様と一緒に
ご参加

お施主様



オンラインで
カラーシミュレーション

ショールーム
アドバイザー

オンライン
カタログや
動画で
ご説明

STEP.1

お近くの
ショールームを
電話で予約

STEP.2

前日に
ショールームから
メールでご招待

STEP.3

お困りごとや
希望を
プロにご相談

STEP.4

商品の説明や
プランのご提示

※お見積りやプレゼンボードの
作成は後日となります。

完全予約制

所要時間 約60分

対応時間 平日11:00~17:00

※本サービスではオンラインアプリ「Zoom」を利用します。ご利用にはインターネット環境とカメラとマイクが完備されているスマートフォン・パソコン・タブレットのいずれかが必要となります。
※本サービスのご利用により発生する通信料はお客様のご負担となります。ご利用の環境により通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。

編集後記

他業種に比べテレワーク導入が遅れがちな建設業界。「現場仕事が多いから仕方ない」と思い込んでいませんか？全ては無理でも、業務を細かく切り分けて検証してみると、テレワークが可能なものが見つかるかもしれません。従来通りの働き方は「慣れているし確実」と思いがちですが、特にこれから社会に出る若い世代には、企業が働き方改革に積極的に取り組んでいるかどうかが問われています。「まずできるところからテレワーク」。この姿勢が大切だと感じました。